

1. 研究主題

「地域とふれあい、地域に学び、地域とともに生きようとする子ども」

2. 研究主題設定の理由

今年度、本校は開校40周年を迎えた。今から約40年前、開通したばかりの地下鉄東西線・葛西駅付近の学校といえば、葛西小学校や第二葛西小学校しかなく、まだ舗装されていない道を片道40分かけて通う児童もいたほどであった。街灯もほとんどなく、まわりは畑や池ばかりで、第四葛西小学校の開校はこの地域に住む人々が長年待ち望んでいた出来事であった。開校後も地域住民に愛され続け、当初、木が一本もなく殺風景だった敷地にたくさんの木々を提供していただき、今では百種千本の木々に恵まれた特色ある学校として、グリーンアドベンチャー活動を20年以上続けている。また、もちつき体験は本校で30年以上続く伝統行事にもなっており、地域の人に愛されながら、そして多くの方々の協力を得ながら本校が支えられ、今日に至っている。

しかし都市化が進んだ葛西の町は、環状七号線など大きな道路が整備されて交通量が増加し、マンション建設などもあって人口が大幅に増加した。近隣には公園がいくつか整備されているが、遊べる場所はだんだんと少なくなり、不審者情報も多いため、常に防犯ブザーを携帯して見知らぬ大人を警戒しなければならない現状もある。近所に誰が住んでいるのか分からないなど、人間関係が希薄化している傾向がある。

そこで今年度は開校40周年の記念の年であることをよき機会として、地域を愛し、未来社会を担う意識化を図り、豊かな人間関係を築く力を育てていきたいと考え、「地域とふれあい、地域に学び、地域とともに生きようとする子ども」という主題を設定した。主として、「地域とふれあい」は低学年、「地域に学び」は中学年、「地域とともに生きようとする」は高学年を意識しながら、本研究を進めていくこととした。

